

あの日を忘れず  
ともに未来へ  
東松島一心

東松島市 伝承館  
震災復興

3.11 Disaster Recovery Memorial Museum

2011年3月11日午後2時46分、  
マグニチュード9.0という国内観測史上最大の巨大地震が発生しました。

経験したことのない激しい揺れ、家をなぎ倒していく黒い津波。このあまりにも大きな  
災害を経験した私たちは何を伝えていけばいいのでしょうか。

震災復興伝承館では震災前の東松島の姿、震災が残した爪痕、復興の過程を通し、  
後世に震災の記憶を伝えていきます。

あの時このまちで何が起きたのか。その時人は何を思ったのか。

そして、そこから沢山の絆や希望が生まれたことを私たちは忘れてはなりません。

記憶は風化します。月日と共に形はなくなり、おぼろげなものへと変化します。  
しかし、ここにある「記憶」は風化することはありません。

震災復興伝承館では震災の記憶を発信していきます。



「3.11」 当たり前のように使われているこの言葉を、過去のものにしない為に、  
五つのメッセージが込められています。

"3.11." Today these words have become commonplace.

For their meaning never to be forgotten, we have created five messages.

復興への希望  
Hope for Recovery

復興の道のりの中で、拾い集めてきた希望。訪れる人と共に、東松島の再生と未来を心に刻んでいきます。

東松島の未来  
Future of Higashi-Matsushima

甚大な被害が出た東松島市。震災が気づかせてくれたこのまちの魅力。感謝の思いと共に、東松島の魅力を発信していきます。

震災の記憶

Memories of the Earthquake

東日本大震災の記憶・教訓を次世代の東松島市民、震災を経験しなかった他地域の方々と分かち合い、防災、減災につなげていきます

感謝の心

Gratitude for Support

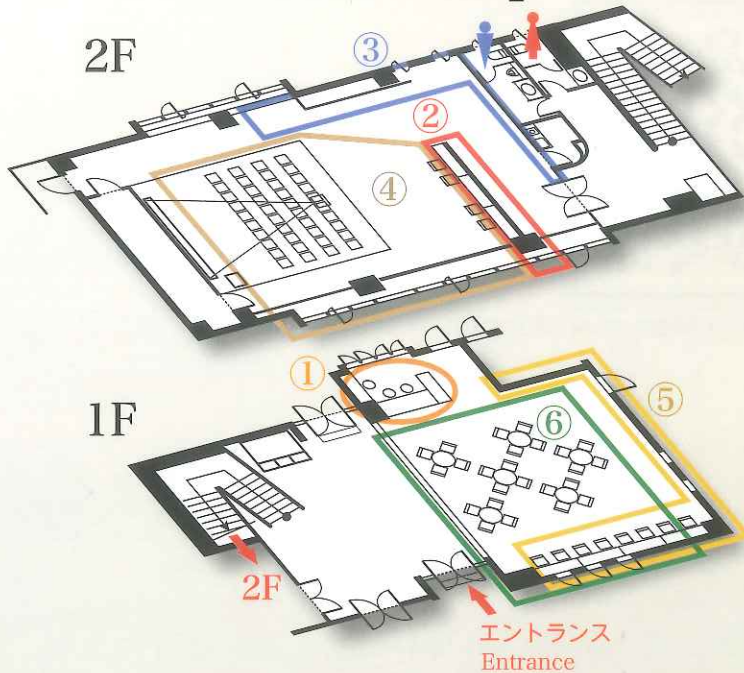
全国からいただいた支援、共助の心を伝え、共有していきます。

ふるさとへの思い

Memories of Our Hometown

震災前の在りし日のふるさとの風景を記憶し、地域の方々の心のよりどころとして。そして、次世代に伝えていきます。

Floor Map



⑥多目的ホール  
Multipurpose Hall  
復興、交流の場として。



①施設案内

Information

インフォメーションコーナー、施設、周辺エリアの観光案内。



②東松島市の歴史

History of Higashi-Matsushima

東松島市の成り立ちや、震災前の東松島市の様子を展示。



③3.11の出来事

The Great East Japan Earthquake

被災状況の展示、アーカイブ映像の視聴ができます。



④復興の歩み

History of Recovery

市内の復興事業、復興風景の展示、全国からのボランティア支援活動の紹介。



⑤未来に向けて

Towards the Future

将来まちづくり構想、復興に向けての様々な活動を紹介。学習、寄せ書きスペースを設置しました。震災への思いを、形あるメッセージとして残しましょう。



施設の都合上、10名以上でご来館される場合は、事前にご連絡下さい。

東松島市震災復興伝承館

3.11 Disaster Recovery Memorial Museum

住所：宮城県東松島市野蒜字北余景56-36

電話：0225-86-2985

開館時間：午前9時から午後5時まで

休館日：毎月第3水曜日

Hours: 9am-5pm

Closed Mondays and the 3<sup>rd</sup> Wednesday of the month

By Train: 15 minute walk from JR Nobiru Station (Senseki-Tohoku Line)

By Car: Sanriku Expressway to Naruse Oku-Matsushima IC



・車でお越しの方

三陸自動車道鳴瀬奥松島インターで降り、車で約10分。

・列車でお越しの方

仙台駅からJR仙石線もしくは、仙石東北ラインで野蒜駅まで約40分。野蒜駅から徒歩で約15分。

・飛行機でお越しの方

仙台空港から仙台空港アクセス線で仙台駅へ。

